

# 浄心寺だより

発行

浄心寺門信徒会

郵便番号 714-0081

笠岡市笠岡 2065

電話 (0865) 62-2623

FAX (0865) 62-2595

振替 01260-9-13760

<http://joshinji.suki-ari.net/>



足形も取ったよ

初

参

式

5月21日

「み法を味わって」(土)

言葉

言葉は精神の脈搏であるといわれます。脈が乱れていることは体調の悪さを示すように、言葉の乱れは考えがいかげんになっていることを示すのでしょうか。

気がついてみると仏教の言葉でも随分たくさん違った意味に使われています。その中には誤解や歪曲から、もとの意味を傷つけるような使い方もあります。

これは仏教の心を傷つけることです。ですから注意して正しくしていかなくてはなりません。たかが言葉くらいとバカにしないで、それを通してものの考え方をはつきりさせたいものです。そのためには、わからないことは放っておかないで尋ねること、まちがっているかいないかも考えず、自分でそうだとばかり思い込んでいることのうちのまちがいを知るためには、いろいろな話を聞く機会を多く持つべきでしょう。

人生の間違ひを知るためにこそ仏法を聞きましょう。

鷹谷俊昭著『月ごとのことば』転載

ごあんない

七月十八日(火) 十三時半より

法宝物

虫ぼん法座

講師 竹原市・宝泉寺 菅 知尚師

本願寺

## 「伝灯奉告法要」

ご満座

専如ご門主の伝灯奉告法要が昨年十月一日から五月三十一日まで十期八十日間(一日一座)つとめられ、全国から参拝者総数は十五万四千十五人にのびりました。当寺からも二回にわたって六十余名の方々がご参拝されました。

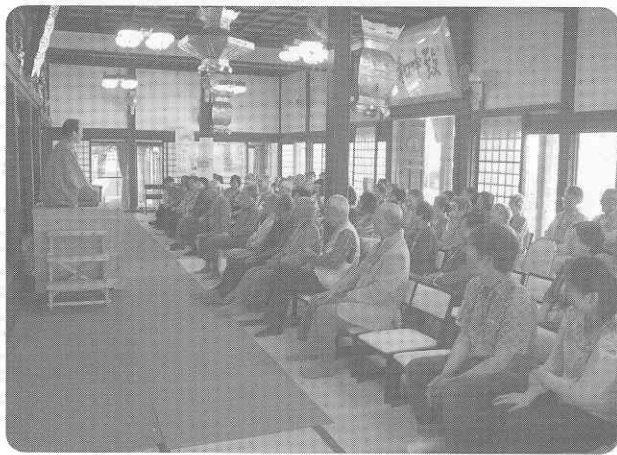


ご満座に当たってご門主から「凡夫の身でなすことは不十分不完全是であると自覚しつつ、それでも《世のなか安穩なれ、仏法ひろまれ》と精一杯努力させていただきましよう(一部分)」という『御満座の消息』が發布され、宗門は新たな一步を踏み出しました。

## 宗祖降誕会法要 盛大につとまる

五月二十日午後一時より、親鸞聖人のご誕生をお祝いして降誕会(ごうたんえ)法要が勤まりました。まず一同で和訳正信偈をおつとめ。続いて奉賛行事が三部開催されました。

第一部は浄心寺女声コーラス同好会「コール清風(しようふう)」による仏教讃歌。平田澄子先生の電子ピアノ伴奏のもと、「聖夜」、「やさしさにであつたら」、「念仏」、「しんらんさま」、「おばあさんのおかあさんの歌」の五曲を披露。や



## チャリティーコンサート



さしい調べが堂内に響きわたりました。

第二部は「発展途上国の子供たちに楽器を贈ろう」という趣旨のチャリティコンサート。箏、三弦、フルート、ピアノ、ソプラノのプ口による演奏を八曲楽しみました。本格的な演奏や歌声に、なんと境内で鳥がさえずり始めました。募金も予想以上に多く集まり、チャリティの主催者からは、今年中にはまとまった数の楽器を贈れそうだと喜びの声をいただきました。

第三部は上方落語。今年は笑福

亭松喬師匠の四番弟子、喬楽さんと孫弟子の生寿さんにお越しいただきました。休憩を挟んで三席あり、一席目は生寿さんによるおなじみの「寿限無」、二席目は喬楽さんによる「八五郎坊主」、三席目は喬楽さんの「上爛屋」でした。楽しい話芸にあつという間に時間が過ぎてゆきました。

今年は例年より長めの法座となりましたが、門信徒以外の方にもお越しいただき、にぎやかで楽しい集いとなりました。

## 笑福亭喬楽さん



## 笑福亭生寿さん



## 仏婦コーナー

## アソカの園

## 仏教婦人会

## 伝灯奉告法要参拝



五月二十四日、仏教婦人会で本山の伝灯奉告法要に参拝しました。三十三名参加のもと、まずは上賀茂神社の分社である大田神社を訪れ、カキツバタを拝観しました。あいにく盛りを過ぎていて、一部はしぼんでいましたが、湿地に生



える青紫の花に癒されました。昼食は本山近くの「京ごちそう、いしまる」へ。鯛茶漬けなど凝った料理をいただきました。そして二時からは本山にて伝灯奉告法要に参拝。御影堂にて専如ご門主とともに正信偈をお勤めました。最後には「伝灯のつどい」として、ご門主ご一家三世代が登場され、六歳の敬(たかし)くんのご挨拶もあって、堂内は大いに盛り上がりました。

出発と帰途には小雨が降りましたが途中は曇りという、暑くも寒くもない絶妙の天候に恵まれて、お代替わりの感動を共有することができました。

## 初参式



五月二十一日十時より本堂にて、初参式(しよさんしき)が開催されました。浄心寺仏教婦人会主催の行事で、第五回目です。

これは、お子さんがお寺参りをし、初めて本堂の阿弥陀さまに手を合わせる儀式です。親子ともども生まれてきたことに感謝し、み教えをよりどころに日々を送ることを誓います。

今回は四名のお子さんと保護者の方々、総勢十三名が参加。「らいはいのうた」のおつとめ、ご法話の後、集合写真を撮り、手形、足形を色紙にとりました。

これからも家族そろってお寺にお参りしてね。



平成二十九年年度

## 仏婦総会

六月十八日(日)、会員五十五名の参加で総会が開催されました。

二十八年度の行事・決算報告、

二十九年度の予算・行事など審議され、満場一致で承認されました。

今年は役員・委員の改選で左記の通り承認いただきました。なお、一部改選され他の役員・地区委員は留任することになりました。

## 新役員

## 新地区委員

会長 榎平 敬子 3班 稲美多美恵  
会計 高田 芳子 12班 大石 節子  
監査 大田ヒサエ 13班 長安 昌子

(敬称略)

平成29年度

# 門信徒会総会

## 平成28年度 行事報告(抜粋)

- ◎ 花まつり 4月29日(金) 8時頃より
- ◎ 総会 5月14日(土) 11時
- ◎ 降誕会 13:30 女声コーラス同好会 コール清風  
仏教讃歌と上方落語 **笑福亭生高師**
- ◎ 研修旅行 6月 4日(土) 広島別院参拝、大和ミュージアム、  
酒工房せせらぎ見学(28名)
- ◎ 法物虫ぼし法座 7月15日(金) 呉市 西岸寺 長岡正信師
- ◎ サマースクール 7月21日(木)～22日(金) 教区内スタッフ38、87名参加
- ◎ 盂蘭盆会 8月15日(土) 10時、14時 住職、前住職
- ◎ 秋季彼岸会・永代経 9月21日(水) 世羅町 圓超寺 法正映真師
- ◎ 地区委員会 12月 3日(土) 11時
- ◎ 報恩講 13時30分 三原市 浄栄寺 栗原一乗師
- ◎ 除夜会、修正会 12月31日(土)、元旦
- ◎ 新春の集い 平成29年 1月18日(水) 文化箏同好会の  
演奏など(37名)
- ◎ 春季彼岸会・永代経 平成29年 3月17日(金) 三次市 源光寺 福岡玄哉師
- ☆ 伝灯奉告法要参拝 平成29年 3月31日(金)
- あさのおつとめ 通年毎朝6時
- ◇ やさしい仏教入門 毎回19:30～21:00 解説:住職  
親鸞さまの生涯 ③④4/12(火)、③⑥6/14(火)、④⑧8/16(火)、  
④⑩10/6(木)、④⑫12/8(木)、④⑬2/9(木)
- ◇ 念仏のつどい 毎月15日 13:30より(但し1月、8月はお休み)  
「浄心寺だより」発刊 115号(5月)、116号(7月)、117号(11月)、118号(3月)
- 仏教婦人会 4/24 ターナバザー、5/15 初参式(実施せず)、6/19 総会、7/1 福祉施設慰問(入江ドルフィン)  
8/24 中四国仏婦大会、料理教室(11/11、3/3)、11/22 研修旅行(富山市 浄福寺)、  
例会(3/12 田井智彦師)、清掃奉仕(念仏の集い)、教区各種研修会
- 文化箏同好会 毎月第1水曜 13:30 指導:平田澄子先生
- 女声コーラスコール清風 毎月第2土曜 19:30 指導:平田澄子先生
- 本山関係 伝灯奉告法要、7月全国真宗青年のつどい、9月千鳥  
が淵全戦死者追悼法要、各種研修会、記念法要など
- 備後教区 各種研修会、定例法座(毎月11日)、報恩講(11/30)、  
5/25(水) 西門主教区で巡回並びに教堂で巡拝、  
11/1 総代研修会(世羅町 照光寺)、平和の集いなど
- 備中里組 同朋研修協議会、第6期連続研修会(偶数月第2木)、  
4/23 青年部会主催「応神山に昇ろう!」35名

## 平成29年度 行事計画

- ◎ 花まつり 4月29日(土) 8時頃より
- ◎ 総会 5月20日(土) 11時30分
- ◎ 降誕会 13時 女声コーラス同好会、音楽家の皆さん  
仏教讃歌とチャリティコンサートと上方落語 **笑福亭高宗師、生壽師**
- ◎ 研修旅行 6月 3日(土) 大谷本廟参拝と伏見、月桂冠大倉記念館
- ◎ 法物虫ぼし法座 7月18日(火) 竹原市 宝泉寺 菅 知尚師
- ◎ サマースクール 7月24日(月)～25日(火) 教区内スタッフ3、4名
- ◎ 盂蘭盆会 8月15日(火) 10時、14時 住職、前住職
- ◎ 秋季彼岸会・永代経 9月22日(金) 山手町 正門寺 石川知全師
- ◎ 地区委員会 12月 2日(土) 11時30分
- ◎ 報恩講 13時30分 福山市内海町 善正寺 那須英信師
- ◎ 除夜会、修正会 12月31日(日)、元旦
- ◎ 新春の集い 平成30年 1月中旬予定
- ◎ 春季彼岸会・永代経 平成30年 3月 講師未定
- あさのおつとめ 通年毎朝6時
- ◇ やさしい仏教入門 毎回19:30～21:00 解説:住職  
④④4/13(木)、④⑤6/9(金)、④⑥8/17(木)、  
④⑦10/1(日)、④⑧12/9(土)、④⑨2/未定
- ◇ 念仏のつどい 毎月15日 13:30より(但し1月、8月はお休み)  
「浄心寺だより」発刊 119号(5月)、120号(7月)、121号(11月)、122号(3月)
- 仏教婦人会 5/21 初参式、5/24 研修旅行(伝灯奉告法要参拝)、6/19 総会、福祉施設  
慰問、料理教室(2回)、例会(3月)、清掃奉仕(念仏の集い)、教区各種研修会など
- 文化箏同好会 毎月第1水曜 19:30 指導:平田澄子先生
- 女声コーラスコール清風 毎月第2土曜 19:30 指導:平田澄子先生
- 本山関係 伝灯奉告法要、7月全国真宗青年のつどい、9月千鳥  
が淵全戦死者追悼法要、各種研修会、記念法要など
- 備後教区 各種研修会、定例法座(毎月11日)、報恩講(11/30)、  
総代研修会、平和のつどいなど
- 備中里組 同朋研修協議会、第7期連続研修会(偶数月)、  
4/22 青年部会主催「真鍋島を歩こう!」60名

## 平成28年度 収支決算書

### 収入の部 5,727,444円

門信徒会費、行事参加費(新春のつどい、サマースクール、研修旅行)、教化助成金、法座懇志、冥加金、預金利子、繰越金

### 支出の部 5,727,444円

行事費(法座、荘厳費、サマースクール、研修旅行、新春の集い、仏教講座、役員会、総会)、賦課金、通信費、手数料、消耗品費、印刷製本費、光熱水費、教化費、当期剰余金、本山門徒懇志

この決算については、平成29年5月9日、監査藤井浩一郎氏、高橋保文氏により監査を受け、正確かつ妥当なことが認められ、5月20日、門信徒会総会において承認されました。

## 平成29年度 収支予算書

### 収入の部 5,706,811円

門信徒会費、行事参加費(新春のつどい、サマースクール、研修旅行)、教化助成金、法座懇志、冥加金、預金利子、繰越金、繰入金  
(ほかに門信徒会基金 10,500,000円)

### 支出の部 5,706,811円

行事費(法座、サマースクール、研修旅行、新春のつどい、仏教講座、役員会、総会)、賦課金、通信費、火災保険料、手数料、消耗品費、印刷製本費、光熱水費、修繕費、教化費、予備費

## さつま「かくれ念仏」について ①

明治維新から150年となる来  
年のNHK大河ドラマが、「西郷  
どん」(西郷隆盛)に決まった。薩  
摩(鹿児島)出身の、明治維新の  
立役者だ。舞台となる鹿児島で  
は、「篤姫」以来十年振りの大河に、  
大いに沸いている。

薩摩・長州などを中心にした明  
治維新によって、日本は西洋列強  
に学び、近代国家を目指して駆け  
抜けていった。しかし、鹿児島(薩  
摩藩)では遅れること実に九年、  
明治9年9月5日に「信教の自由  
令」が県内に布達されるまで、約  
300年にわたり浄土真宗が禁止  
され続けていた。

浄土真宗は、慶長2(1597)  
年、第17代島津義弘によって禁止  
された。「南無阿弥陀仏」と唱え  
ることが禁止されたのではない。

## 掟書

一向宗之事、  
先祖以来御禁制之  
儀ニ候之条、  
彼宗体ニナリ候者ハ  
曲事タルヘキ事

1500年頃に鹿児島に伝  
わった浄土真宗は、1592  
年2月22日、第17代島津  
義弘が朝鮮出兵の際に留  
守に残した掟書の中で、  
正式に信仰が禁止された。  
しかし、程度の差はあつ  
ても、義弘の代以前から  
既に禁制であったと考え  
られる。

※来年度の研修旅行として「さつま  
かくれ念仏探訪」を予定していま  
す。どうぞ、お楽しみに。

諸説あるが、「阿弥陀如来の前  
には、全ての生きとし生けるいの  
ちは尊い」という親鸞聖人のみ教  
えが、当時の支配体制にそぐわな  
かった」と言われる。  
薩摩藩から厳しい弾圧がなされ  
たが、門徒たちは決してみ教えを  
捨てなかった。念仏解禁から14  
0年、み教えに命をかけた先人の  
足跡をたどっていきましょう。  
(本願寺新報29年1月20日号)

当寺前々々坊守ならびに  
前々住職、同坊守の  
年回法要勤まる

さる五月六日に第十六世坊守・  
琴さまの五十回忌、第十七世住職  
・康道師の十三回忌、同坊守・恒  
子さまの十七回忌法要がお手次寺  
の光善寺殿ご導師のもと近親者四  
十八名が参集し厳かに勤められま  
した。

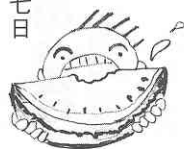
琴さまは戦時中、男子が出征中、  
法務もこなし寺を守ってこられま  
した。また前々住職は復員後、坊  
守ともどもに荒廃した寺の復興に  
尽くされました。

縁者はそれぞれ世代が代わりま  
したが、万感の思いでお偲びいた  
しました。

みんなあつまれ！  
サマースクール

七月二十四日(月)二十五日(火)  
小学生対象に一泊二日で、仏さま  
のお話を聞いたりゲームをしたり  
します。門信徒以外のお子さんも  
参加いただけます。  
詳細や申し込みは  
浄心寺までお問い  
合わせください。

※締め切りは七月十七日

特別企画  
御正忌報恩講に  
参拝しませんか？

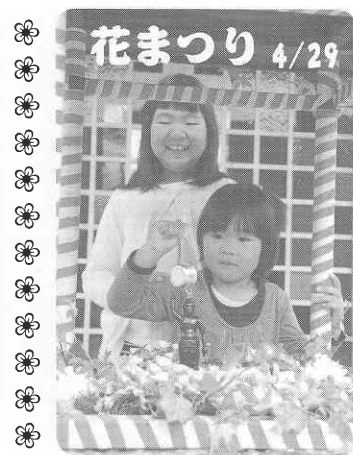
◎御正忌(ごしょう忌)報恩講とは

宗祖親鸞聖人のご恩をしのび、  
そのご苦勞を通じて、阿弥陀如  
来のお救いをあらためて心に深  
く味合わせていただく法要です。

◎期 間

親鸞聖人のご命日は、現在の  
暦で一月十六日。本山では毎年  
一月九日から十六日まで御正忌  
報恩講をお勤めします。法要後  
には国宝・鴻の間でお齋をいた  
だきます。大広間に一同が会し  
ての貴重な体験です。

◎仏教婦人会では来年のこの法要  
に参拝予定です。ただし、仏婦  
会員に限りませんので、門信徒  
の方もぜひご参加ください。詳  
細は後日お知らせ致しますので、  
どうぞお誘い合わせされ、このご  
勝縁にお会い下さい。



# 門信徒の広場

## 門信徒会長の交替

住職継職を機に会長を交代したい、という内海義郎会長の強いご要望のもと、このたび会長を生江浜の藤井祐三氏に引き継いでいただくことになりました。内海氏には平成25年より、石井敏克氏の辞任を機に会長職を受けていただいていたおりましたが、今後は参与としてお力添えを頂きます。長年のご尽力に感謝申し上げます。また、藤井氏は平成23年より教務を勤めていただいております。どうぞ



## 就任のご挨拶

藤井祐三

この度、図らずも会長を仰せつかりましたが何分浅学非才の身でございますので門信徒会の皆様方のご指導、ご鞭撻と又ご協力を賜わりながら護持発展のため微力ながら尽瘁致す所存です。で前会長同様に宜しくお願い申し上げます。

よろしくお願いいたします。

そのほかの役員の交代は次の通りです。(敬称略)

事務局 教務 (前) 藤井祐三

(新) 高田泰紀

地区委員

小坂東

(前) 宮本 巖

(前) 亀岡達明

(新) 亀岡晴秀

(新) 亀岡克史

前任方ありがとうございます。新任の方、よろしく願います。

## 念仏のつどいにご参加を!

毎月十五日午後十三時半(六月、七月は七時半)より、門信徒会主催の境内清掃を行っております。近年は婦人会の当番班中心の清掃になっており、門信徒会からもっと参加を、という声があがっております。どうぞ男性も積極的にご参加ください。一月と八月はお休み、九月(七時半より)は仏婦の清掃奉仕です。

## 研修旅行

## 大谷本廟への参拝

高田 泰紀

今年の研修旅行は、久しぶりの大谷本廟への納骨と参拝の旅でした。既に納骨しておられる方、新たに納骨する方総勢33名の参加者で6月3日(土)、爽やかな五月晴れの好天に恵まれ出発しました。

大谷本廟では、追悼法要ののちに新旧の納骨堂で納骨と参拝を行いました。参加者の中には、三十有余年ぶりに当廟に参拝した「責任が果たせた」と感慨深げに話されていた人、また奥様を亡くして以来、こうした催しには積極的に参加していると話された方など、皆さんそれぞれの思いを持って参加され、故人を偲んでいるのだと思ったところです。



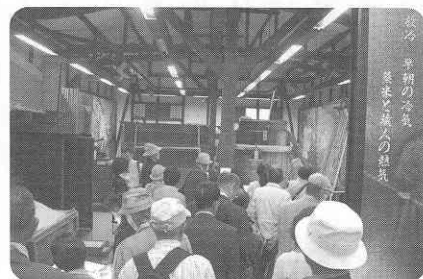
豆腐をメ  
イン食材と  
した昼食の  
後は、「月桂  
冠大倉記念  
館」を見学  
しポランテ  
イアガイド  
さんによる、  
昔の道具を  
中心とした説明を受けながら、お  
酒ができるまでを知ることが出来  
ました。

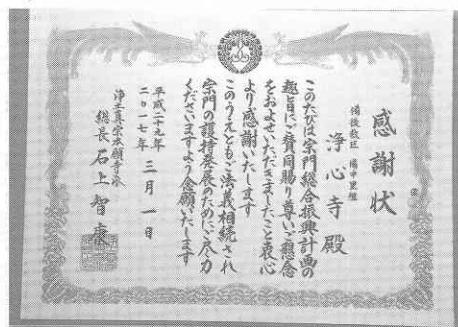
参加者それぞれに、爆買いまでとは行かないまでも、沢山のお土産を持ち帰路につきました。



今回の旅は、故人に想いを馳せ、親鸞聖人の教えに触れる事を通して、いまいちど自分自身を見つめ直す良い機会になったと思っております。

次回には、更に多くの方々の参加を頂き、各人でもうした時間をお持ち頂きたいものです。



宗門総合振興計画御懇志の  
感謝状届く

宗門総合振興計画懇志として本山より依頼のあった門徒懇志212万6000円を、昨年末に門信徒会の予備費より全納しましたが、

\*\*\*\*\*

## 第七期

## 連続研修会始まる

四月二十日十三時より、備中里組第七期連続研修会（連研）が開催されました。十七名の参加者のうち当日は十二名が参加。僧侶七名、門徒推進員七名も参加し、浄心寺本堂にて開会式を行いました。

まずは連研担当の浄心寺住職によるオリエンテーション。研修内容などを説明しました。そして「あなたにとって幸せとは何ですか？」というテーマのもとに二班

その十五パーセントの還付があり、また本山より感謝状が届きました。

この懇志は五月まで行われていた伝灯奉告法要と、きたる親鸞聖人生誕八百五十年記念法要にかけたの十年間で懇志を募り、宗門の振興に充てるものです。早期の納付には高い還付率となっており、当寺門信徒会では最も早い時期に納付いたしました。親鸞聖人七五〇回大遠忌法要の際や、浄心寺継職法要にあたって、たびたび懇志をいただいて参りましたので、このたびは余剰金をもって懇志に充てさせていただきました。

どうもありがとうございます。に分かれて話し合い法座を開きました。初めてながら話も弾み、あつという間に終了時刻が来しました。倉敷開教センターの住職、幡多哲也さんによるまとめのお話をいただき、解散となりました。今後二年間、計十二回の研修を行っていきます。

## ◎浄心寺からの参加者

松田勝由さん（生江浜）  
北川嗣雄さん（吉浜）  
伊藤映子さん（新横島）  
見平卓己さん（新横島）  
見平昭子さん（新横島）

## 質問箱

「南無阿彌陀仏」の意味を教えてください。これは中国語ですか？」

## ベストアンサー

これはインドのサンスクリット語を漢訳したのですが、漢字自体に意味があるのでなく、漢字の音を借りて表わした言葉です。

「南無」は頭を下げる、礼拝するという意味。「阿彌陀」は無量の意で、無量光、無量寿の二つの意味をもつと言われます。「仏」はさとつた方、ここでは阿彌陀仏という極楽浄土の仏さまを指します。要するに「阿彌陀さまに感謝します」ということです。

## 門徒推進員連絡協議会総会

備中里組門徒推進員連絡協議会（長安圭一会長）の総会が、四月二十日十時半より、浄心寺礼拝堂にて開催されました。これは同協議会が発足して初めての総会です。門徒推進員九名、組長をはじめ僧侶五名出席のもと、平成二十八年度の行事報告、決算報告、新年度の行事計画、予算案が審議されました。また、連研についての打ち合わせも行いました。

平成29年度  
門信徒会会費納入のおねがい

本年度会費納入をお願い申し上げます。納入につきましては、地区委員さんを通してか、地区委員のおられない地区の方はご参拝の折、あるいは同封の郵便振替（手数料無料）でお願いいたします。

門信徒会費は年額2,000円として、それ以上の御懇志の方には金額を限定しておりません。（会 計）

## 還 浄（げんじょう）

|    |     |   |     |     |
|----|-----|---|-----|-----|
| 藤井 | 文子  | 4 | 20  | 浜田  |
| 藤永 | 明雄  | 4 | 78  | 浅口市 |
| 長安 | 将宏  | 4 | 80  | 倉敷市 |
| 佐藤 | 吉子  | 4 | 85  | 井原市 |
| 長安 | 寛子  | 5 | 81  | 横島  |
| 藤川 | 初正  | 5 | 90  | 入江  |
| 長安 | 郁恵  | 5 | 90  | 孫治端 |
| 植田 | 保夫  | 5 | 93  | 宮地  |
| 伊藤 | 梅子  | 5 | 101 | 上田頭 |
| 森山 | 日出夫 | 5 | 101 | 井原市 |
| 小寺 | 和夫  | 5 | 101 | 小坂東 |
| 松山 | 絹枝  | 5 | 96  | 浅口市 |
| 西村 | 博志  | 6 | 95  | 大阪府 |
| 辻川 | 禎子  | 6 | 89  | 上田頭 |
| 浅野 | 和子  | 6 | 18  | 新横島 |

## 仏教



教えと  
そのあゆみ



## 七高僧のご事績(四)

## 第四祖 道綽禪師

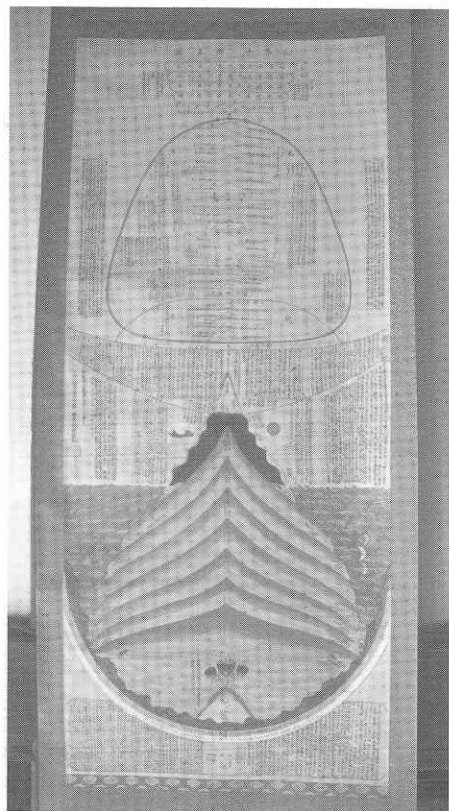


禪師は中国隋代の河清元年(五六二)に弁州の汝水で生まれ、唐の貞観十九年(六四五)八十四歳で入寂されました。はじめ涅槃宗をおさめられましたが、四十八歳の時石壁の玄忠寺に参詣して曇鸞大師の碑文をみて、浄土門に帰依され、その後は玄忠寺にとどまっていた日々、念仏を称えること七万遍、『観無量寿経』を講義すること二百回以上に及び、文盲の庶民にで

## 浄心寺の法宝物

その17

## 「三界五趣」(須弥山)図



紙本画軸

たて131cm よこ56cm

須弥は梵語スメールを音訳した語です。妙高と意識します。仏教の宇宙観によれば、虚空の中に風輪という円筒状の気体の層が浮かんでおり、その上に水輪という水の層、さらに、その上に金輪という固体の層があつて、それが大地を支えています。

その中心に高くそびえる巨大な山が須弥山です。

当寺が所蔵するこの須弥山図は第八代明導が延享五年(一七四九)に描いたもので画の周囲に細字で三界五趣の記述が詳細にされるされています。

きるように、小豆で念仏の数量を数えることを勧めるなど実践性と民衆教化に努めました。

その著作『安樂集』二巻は、曇鸞大師の教学を継承しつつ末法到

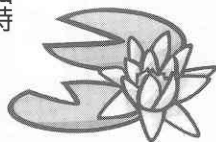
## 盂蘭盆会

(うらぼんえ)

八月十五日(火)

十時と十四時

浄心寺本堂にて  
お盆のおつとめをします。



来の時代の認識の上に展開された浄土教の主要な問題について述べたものです。

親鸞聖人は『高僧和讃』に七首を草して讃えています。

## 秋季 彼岸会 法要

講師 福山市正圓寺 石川知全師

九月二十二日(金) 十三時半より



日常語として使われている「金輪際」は大地を支えている金輪と水輪の境い目のことで、私たちにとっては、これより先の無い、ぎりぎりのところ、われわれの世界の最下底という意味です。

## 編集後記

夕風の涼味うれしき頃となりました。本年度門信徒会総会、宗祖降誕会等々の諸報告および今後の予定として虫干し法座、研修旅行計画、盂蘭盆会、秋季彼岸会、門信徒会費納入依頼等々をお知らせする会報第120号をお届けします。

法要、法話などご聴聞に励まれ尊いご縁に遇われますようお願いいたします。

(編集委員会)